まちの話題 TOPICS

演奏に合わせて体で拍子をとるなど、来場者も一体となって楽しみました

Oh! MACHI MUSIC FESTA2019

5月3日［釜石市民ホールTETTO］

ゴールデンウィーク恒例となったこのイベントも、今年で5回目。実行委員長の新里耕司さんが「音楽と大町全体を十分に楽しんでほしい」とあいさつし、釜石ベンチャーズの演奏で幕を開けました。特別ゲストのleccaさんや坂元昭二さん、＊はなおと＊さんの他、13組のアーティストが県内外から訪れ、自慢の演奏を披露。フリーマーケットやキッチンカー、東部地区のフォトラリーも行われ、会場周辺はにぎやかな雰囲気に包まれました。

危機対応学トークイベント

5月11日［釜石情報交流センターラウンジ］

「スポーツイベントと危機対応」をテーマに、昨年福井県で開催された国民体育大会と全国障害者スポーツ大会で大会運営に携わった福井県国体推進局企画幹の白嵜淳（すなお）さんを講師に開催。東京大学社会科学研究所教授の玄田有史さん、中村尚史さん、宇野重規さんと具体例を交えながらトークを展開し、当市で開催されるラグビーワールドカップでも起こり得る不測の事態への対策や対応方法の参考にしようと、参加した30人の来場者は真剣な表情で聞き入りました。

白嵜さんは、大会成功のためには選手や来訪者に対する思いも重要だと話しました

はしの四季まつり 第1弾 橋野鉄鉱山八重桜まつり

5月12日［橋野鉄鉱山インフォメーションセンター周辺］

世界遺産橋野鉄鉱山を彩る八重桜まつりが、橋野町振興協議会、栗橋地区まちづくり会議の共催で開催されました。釜石観光ガイド会による高炉跡の見学ツアーには約100人が参加。世界遺産を学ぶ人、ウォーキングする人、遊具で遊ぶ家族連れなどたくさんの人でにぎわいました。餅まきでは振興会の女性部が心を込めて作った1,500個を用意、豚汁のお振る舞いには約450人が並び、思い思いに新緑の青ノ木を楽しみました。

インフォメーションセンターから高炉跡へ向かう道では、八重桜並木を楽しめます

釜石鵜住居復興スタジアム仮設スタンド工事

5月17日［釜石鵜住居復興スタジアム］

9月に開催されるラグビーワールドカップに向け、スタジアムの仮設スタンド設営工事が進んでいます。昨年完成した常設6,010席に加え、仮設スタンドには1万324席が設置されます。仮設スタンドの約6,000席には、平成29年5月に発生した尾崎半島での大規模林野火災の被害木が材料として使用されます。完成後には、1万6,334人を収容するスタジアムになります。

完成（歓声）が待たれる釜石鵜住居復興スタジアム

魔女の宅急便メドレーでは魔女の帽子を被って演奏しました

トキドキクインテット

5月19日［釜石市民ホールTETTO］

釜石市民吹奏楽団の有志が集まり、平成26年に結成した木管五重奏団によるコンサートが開かれました。みんなが知っている曲で、楽しく、嬉しくなる演奏をモットーに3回目となったコンサートは、昨年に引き続きガラス張りのホールBを開放して開催。交流のある気仙沼のフルートアンサンブル、シードル・ブーシェも登場し、外を歩く通行人や、TETTOに立ち寄った人も楽しそうな雰囲気と軽快な音色に誘われ、肩ひじを張らない音楽を楽しみました。

慎重に石から石へ渡り歩く子どもたち

かまいし森のようちえん2019春

5月25日［福祉の森］

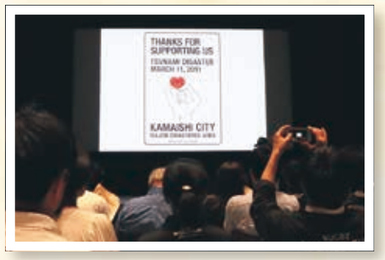
晴れ渡る空の下、参加した子どもたちは、元気いっぱいに森の中で葉っぱや石などを使ったじゃんけんや、川遊びをしました。講師を務めた「自然あそび広場　にここ」を運営する深澤鮎美さんは「自然の中には学びの素材が豊富」と話します。親子での自然体験と子どもの健やかな成長を願う「かまいし森のようちえん」は、本年度はあと3回（夏、秋、冬）開催する予定です。

※熊本県から、震災ボランティアをしている堀江清次郎さん夫妻が駆け付け、サツマイモのプレゼントもありました

外国人おもてなしセミナー、インバウンド白熱トークライブin釜石

5月25日［チームスマイル・釜石PIT（写真左）］、5月28日［釜石市民ホールTETTO（写真右）］

ラグビーワールドカップ開催を前に、釜石を訪れる外国人を市民がどのように受け入れるかをテーマとしたセミナーが開催されました。25日のセミナーで講師を務めた村尾隆介さんは「無関心にならず市民全体で歓迎ムードを出して欲しい」と話しました。28日のトークライブでは「外国人の受け入れ」をテーマとして(一社)日本インバウンド連合会理事長の中村好明さんの基調講演の後にパネルディスカッションが繰り広げられ、参加者は真剣な表情で聞き入りました。



外国人を歓迎する「おもてなし」の心が最も大事であると、両セミナーで話されました

とうに寺子屋教室（田植え体験会）

5月26日［唐丹町川目地区］

農業をテーマに地域の自然、仕事、食を考える機会にしようと唐丹、釜石、平田の公民館が合同で実施しました。地元農家の皆さんや花巻農業協同組合釜石支店、(一財)セブン-イレブン記念財団などが協力。3地区から集まった約70人が田植えを体験しました。県立大学の学生らも地域協働研究の一環として参加。小学2年の男子児童は、「泥がぐちゃぐちゃで気持ち悪かったけど、上手くできた。もう1回やりたい」と目を輝かせました。

夏には水田で生き物観察、秋には収穫祭を計画しています

景色を楽しみながら、真新しい道路を歩く参加者たち

釜石山田道路全線開通記念 笑顔つながる三陸♥ヘルシーウォーク2019

5月26日［釜石山田道路　大槌IC付近］

6月22日の釜石山田道路〈釜石北IC～大槌IC〉間の開通を前に、同区間の一部を会場に健康ウォーキングイベントが開催されました。約400人の参加者は、夏空のような空の下、5.2kmのコースを一歩一歩踏みしめながら笑顔で歩きました。

この区間の開通により、三陸沿岸道路の気仙沼市～宮古市間がつながります。

釜石市消防団消防演習

5月26日［釜石市民ホールTETTO他］

消防団員の消防精神の錬成と市民への防火思想の高揚、安全、安心なまちづくりを目的とする消防演習は、新入団員3人を加え団員600人、車両40台が出動し開催。TETTOでは消防庁長官表彰などの披露の他、市長表彰、団長表彰が行われ、新入団員を代表し澤口莞平（かんぺい）さんが宣誓しました。青葉通り付近ではたくさんの市民や家族が見守る中、釜石市少年消防クラブの30人も、団員、消防車両と共に行進し、防災意識の向上をアピールしました。

少年消防クラブや市民らが見守る中、甲子川河川敷で放水訓練を行いました